

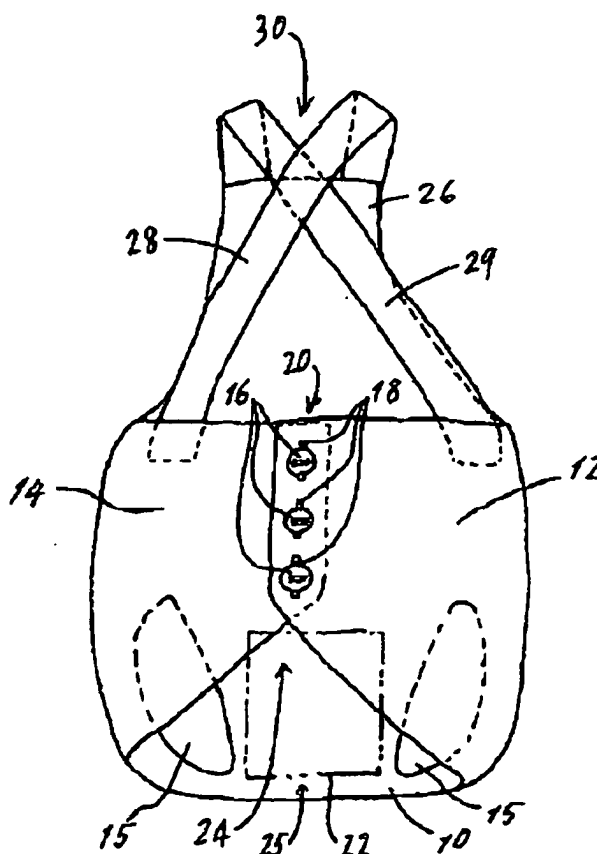
DIAPER COVER FOR DOG

Patent number: JP2002238394
 Publication date: 2002-08-27
 Inventor: MATSUKAWA YOKO
 Applicant: MATSUKAWA YOKO
 Classification:
 - International: A01K23/00
 - european:
 Application number: JP20010044775 20010221
 Priority number(s):

Abstract of JP2002238394

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a diaper cover for a dog capable of extremely simply carrying out wearing and removal from the dog and exchange of a diaper with a slight feeling of pressure applied to the dog in a state of the diaper cover worn on the dog and slight sweatiness.

SOLUTION: This diaper cover for the dog comprises a stomach band part 10 applied to the belly part of the dog, back pad parts 12 and 14 connected to both sides of the stomach band part 10 and capable of being wound around the barrel part from both sides of the dog, a connecting part 20 capable of connecting the back pad parts 12 and 14 in a state of the back pad parts 12 and 14 wound around the barrel part of the dog to the back pad parts 12 and 14 on both sides, hind leg holes 15 formed in the stomach band part 10, a diaper wearing part 25 prepared for a part applied to the genital organs of a male and two mutually crossing strings 28 and 29 connecting the front end of the stomach band part 10 to the front ends of the back pad parts 12 and 14 on both sides. An escape part 24 for the dog tail is formed in the back pad parts 12 and 14 and a space between the crossing part of the two strings 28 and 29 and the front end of the stomach band part 10 is used as an inserting part 30 for the head of the dog.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-238394

(P2002-238394A)

(43) 公開日 平成14年8月27日 (2002.8.27)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テ-マ-ト (参考)

A 0 1 K 23/00

A 0 1 K 23/00

Z

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2001-44775 (P2001-44775)

(22) 出願日 平成13年2月21日 (2001.2.21)

(71) 出願人 501071994

松川 陽子

神奈川県横浜市瀬谷区阿久和東3-48-5

(72) 発明者 松川 陽子

神奈川県横浜市瀬谷区阿久和東3-48-5

(74) 代理人 100088856

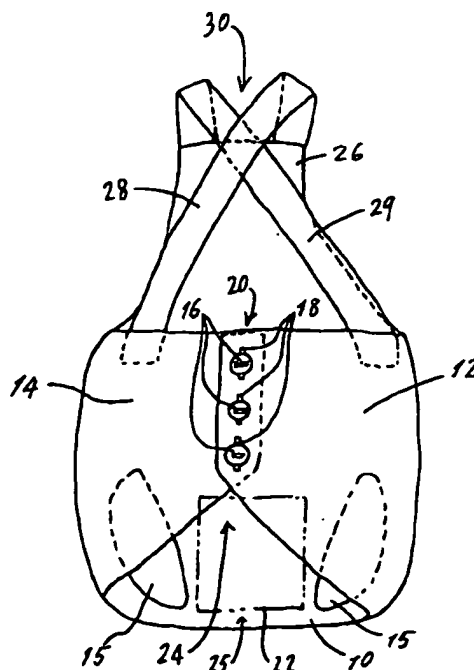
弁理士 石橋 佳之夫

(54) 【発明の名称】 犬用オムツカバー

(57) 【要約】

【課題】 犬に対する着脱およびオムツの交換がきわめて簡単であり、犬に装着した状態で犬に与える圧迫感が少なく、蒸れの少ない犬用オムツカバーを得る。

【解決手段】 犬の腹部に当てる腹当て部10、腹当て部の両側につながって犬の両側から胴部に巻き付けることができる背当て部12、14、背当て部を犬の胴部に巻き付けた状態で両側の背当て部を連結することができる連結部20、腹当て部10に形成された後足通し孔15、腹当て部10の、雄の生殖器に当たる部分に用意されたオムツ装着部25、腹当て部10の前端部と両側の背当て部12、14前端部とを連結するとともに互いに交差する2本の紐28、29を有する。背当て部12、14に、犬の尻尾に対する逃げ部24を形成し、2本の紐28、29の交差部と腹当て部10の前端部との間を、犬の頭部の挿入部30とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 犬の腹部に当てる腹当て部と、
腹当て部の両側につながって犬の両側から胴部に巻き付けることができる背当て部と、
背当て部を犬の胴部に巻き付けた状態で両側の背当て部を連結することができる連結部と、
上記腹当て部に形成された後足通し孔と、
上記腹当て部の、雄の生殖器に当たる部分に用意されたオムツ装着部と、
上記腹当て部の前端部と上記両側の背当て部前端部とを連結するとともに互いに交差する2本の紐とを有してなり、
上記背当て部には犬の尻尾に対する逃げ部が形成され、
上記2本の紐の交差部と上記腹当て部の前端部との間が、犬の頭部の挿入部となっていることを特徴とする犬用オムツカバー。

【請求項2】 腹当て部には、犬の胸部に当てる胸当て部がつながっていて、この胸当て部から2本の紐が延びている請求項1記載の犬用オムツカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、犬用のオムツカバー、特に、雄犬の小便の垂れ流しに対処することができるオムツカバーに関するもので、装着の容易性、おむつ交換の容易性を狙ったものである。

【0002】

【従来の技術】犬の飼い主にとって、排便のしつけは容易ではない。屋内で排便しないようにし、散歩の際に排便するようにしつけても、マーキングと称して、あちこちでやたらに放尿する。あるいは、しつけが行き届かないと、屋内においても、気に入らないことがあったりすると、腹いせに放尿して飼い主を困らせることがある。特に雄犬はやたらにマーキングする傾向にある。また、しつけのよかった犬でも、老犬になると知らず知らずのうちに小便を漏らしていることがある。

【0003】そこで、犬にオムツをつけるために、犬用のオムツカバーが各種提案されている。しかし、便の漏れを防止することができる信頼性の高いものは、オムツカバー自体の着脱およびオムツの交換が面倒であるという難点があり、オムツカバー自体の着脱およびオムツの交換を簡単にしたものには漏れ防止の信頼性に劣るという難点があった。

【0004】従来の犬用オムツカバーの例として、特開平3-292834号公報記載のものがある。これは、下フラップが犬の腹部側になるようにして犬の頭を上フラップと下フラップとの間に通し、襟ぐり部および前足ぐり部から犬の頭と2本の前足とが出るようにし、次に、オムツを犬の後足の股部に当て、臀部に用意されているオムツ保持部でオムツを保持しながら、上フラップと下フラップとの内側縁部で後足を包み、後足ぐり部

から後足を出して接合部を合わせ、ボタンをボタン孔に嵌めることによって、犬の尻の部分ですっぽり包み込むようにしたものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記公報記載の発明によれば、犬の排便が外部に漏れ難い構造になっているが、犬の頭と2本の前足および2本の後足をそれぞれに対応するぐり部に通す必要があり、オムツカバーの着脱が極めて面倒な構造になっている。また、犬の胴部および臀部がオムツカバーで覆われてしまうため、蒸れやすく、かつ、犬に圧迫感を与えるなど、犬に苦痛を強いることになる。

【0006】本発明は以上のような従来技術の問題点を解消するためになされたもので、犬に対する着脱およびオムツの交換がきわめて簡単であり、犬に装着した状態で犬に与える圧迫感が少なく、かつ、蒸れの少ない犬用オムツカバーを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、請求項1記載の犬用オムツカバーは、犬の腹部に当てる腹当て部と、腹当て部の両側につながって犬の両側から胴部に巻き付けることができる背当て部と、背当て部を犬の胴部に巻き付けた状態で両側の背当て部を連結することができる連結部と、腹当て部に形成された後足通し孔と、腹当て部の、雄の生殖器に当たる部分に用意されたオムツ装着部と、腹当て部の前端部と上記両側の背当て部前端部とを連結するとともに互いに交差する2本の紐とを有して、上記背当て部に、犬の尻尾に対する逃げ部を形成し、上記2本の紐の交差部と腹当て部の前端部との間を、犬の頭部の挿入部としたことを特徴とする。

【0008】頭部の挿入部は、2本の紐の交差部と腹当て部の前端部との間に形成されており、2本の紐と腹当て部は柔軟性があるため、容易に犬の頭部を挿入することができる。後足通し孔に犬の後足を通すとき、両側の背当て部は解放した状態すなわち連結部による連結を外した状態にすることにより、簡単に後足を通すことができる。このように、犬の頭部と後足を通した状態で、両側の背当て部を犬の胴部に巻き付け、両側の背当て部の先端部を連結部で連結すれば、オムツカバーの装着が完了する。オムツを交換するときは、上記連結部を外し、腹当て部を犬の腹部から下げた状態にすればよく、オムツカバー全体を取り外す必要はない。オムツカバーを犬に装着した状態でも、犬の臀部は解放されているため、犬に圧迫感を与えることはないし、オムツが濡れていても蒸れを軽減することができる。

【0009】請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、腹当て部には、犬の胸部に当てる胸当て部がつながっていて、この胸当て部から2本の紐が延びていることを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明にかかる犬のオムツカバーの実施形態について説明する。図1において、符号10は犬の腹部に当てる腹当て部を示している。この腹当て部10の左右両側は、犬の左右両側から犬の胴部に巻き付けることができる背当て部12、14につながっている。背当て部12、14の先端縁部は、背当て部12、14を犬の胴部に巻き付けた状態で互いに重なり合うことができ、これら背当て部12、14の先端縁部には、両側の背当て部12、14を連結することができる連結部20が設けられている。連結部20は、一方の背当て部12側に形成された適宜数のボタン孔18と、他方の背当て部14側に上記ボタン孔18の数に対応した数だけ取り付けられたボタン16とで構成されている。それぞれのボタン孔18にボタン16を嵌めることにより、背当て部12、14の先端縁部が重なった状態で背当て部12、14を連結することができるようになっていいる。なお、ボタン孔18とボタン16の代わりに、平面ファスナー（商品名「マジックテープ」）を使用してもよい。

【0011】上記腹当て部10には後足通し孔15が左右に形成されている。また、腹当て部10の上記左右の後足通し孔15間、したがって、雄の生殖器に当たる部分には、オムツ装着部25が用意されている。オムツ装着部25には、紙おむつ、不織布からなるオムツ、その他適宜の素材からなるオムツ22が、両面接着テープ、平面ファスナーなどによって装着することができるように、また、取り外すことができるようになっていいる。上記の両面接着テープを用いる場合は、その片面をオムツ側に接着させ、表面側には保護フィルムを付着させておき、オムツカバーに装着するとき保護フィルムを剥がすようにするとよい。上記平面ファスナーを用いる場合は、ファスナーの片面をオムツカバーの上記オムツ装着部25に取り付けておくとよい。

【0012】上記腹当て部10の前端部と上記両側の背当て部12、14の前端部は、2本の紐28、29で連結されている。ただし、腹当て部10の前端部と、2本の紐28、29の一端部との間には、犬の胸部に当たる胸当て部26が介在している。また、2本の紐28、29はそれぞれ上下方向に折り返されるとともに、途中で互いに交差している。上記2本の紐28、29の交差部と上記腹当て部10の前端部（図1の例では腹当て部10と実質一体の胸当て部26）との間が犬の頭部の挿入部30となっている。

【0013】上記両側の背当て部12、14は、腹当て部10とのつながり部から先端部に向かって後側の縁部が斜めにカットされ、上記連結部20で背当て部12、14を連結したとき、背当て部12、14によって犬の尻尾に対する逃げ部24が三角形に形成されるようになっていいる。

【0014】上記腹当て部10、背当て部12、14および胸当て部26は1枚の素材で一体に形成してもよいし、別体の素材としてこれを縫い合わせるなどして一体としたものであってもよい。2本の紐28、29の、背当て部12、14および胸当て部26への連結手段は、縫い合わせ、その他適宜の手段を用いる。また、これらの素材は特に限定されるものではないが、通気性の良好な素材にすることが望ましい。

【0015】次に、上記実施形態にかかる犬用オムツカバーの使用態様について図2を併せて参照しながら説明する。オムツを犬に装着する場合は、まず、連結部20による両側の背当て部12、14の連結を外して両側の背当て部12、14を展開した状態にする。この状態でオムツ装着部25にオムツ22を装着しておく。次に、2本の紐28、29の交差部と腹当て部26の前端部との間に形成されている頭部の挿入部30に犬の頭部を挿入する。2本の紐28、29と腹当て部26をはじめとしてオムツカバー全体は柔軟性のある材料で作られているため、上記挿入部30に容易に犬の頭部を挿入することができる。次に、後足通し孔15、15に犬の後足を通す。このとき、両側の背当て部12、14は展開された状態になっているため、後足通し孔15、15に簡単に後足を通すことができる。次に、両側の背当て部12、14を犬の胴部に巻き付け、両側の背当て部12、14の先端部を連結部20で連結すれば、腹当て部10が犬の腹部に当たるとともにオムツ22が雄犬の生殖器を包み込み、胸当て部26が犬の胸部に当たった状態でオムツカバーの装着が完了する。

【0016】両側の背当て部12、14の連結は、犬の背中側で行なうようになっていいるため、背当て部12、14を犬の胴部に巻き付け、両側の背当て部12、14の先端部を連結するという一連の操作を容易に行なうことができる。紐28、29が交差していることにより、犬にオムツカバーを装着した状態で、犬の両肩に紐28、29がまわりつくようにして当たるため、紐28、29が犬の肩から外れることがなく、オムツカバーを確実に装着することができる。オムツ22を交換するときは、上記連結部20を外して両側の背当て部12、14を展開し、腹当て部10を犬の腹部から下げた状態にすればよく、オムツカバー全体を取り外す必要はない。

【0017】オムツカバーを犬に装着した状態でも、犬の臀部は解放されているため、犬に圧迫感を与えることはないし、風通しがよいためオムツ22が濡れていても蒸れを軽減することができる。オムツカバーを犬に装着した状態で、背当て部12、14によって犬の尻尾に対する逃げ部24が形成されるため、犬の尻尾を孔に通す必要がなく、この点でも操作性を高めることができる。

【0018】オムツカバーを取り外す場合は、上記の操作とは逆に、連結部20を解放する、犬の後足を後足通

し孔15、15から抜き取る、犬の頭部から挿入部30を抜き取る、という手順で行なうことができ、取り外す操作も簡単である。

【0019】

【発明の効果】本発明によれば、2本の紐の交差部と腹当て部の前端部との間に形成されている挿入部に犬の頭部を挿入し、後足通し孔に犬の後足を通し、両側の背当て部を犬の胴部に巻き付け、両側の背当て部の先端部を連結部で連結するだけで、オムツカバーの装着が完了し、装着時の操作性が良好な犬用オムツカバーを提供することができる。特に、後足通し孔に犬の後足を通すとき、両側の背当て部は展開した状態すなわち連結部による連結を外した状態にすることができるため、後足を後足通し孔に通すことも簡単である。オムツを交換するときは、上記連結部を外し、腹当て部を犬の腹部から下げた状態にすればよく、オムツカバー全体を取り外す必要はないから、おむつ交換も容易である。さらに、犬の臀部は解放されているため、犬に圧迫感を与えることはないし、オムツが濡れていても蒸れを軽減することができる。

る。

【図面の簡単な説明】

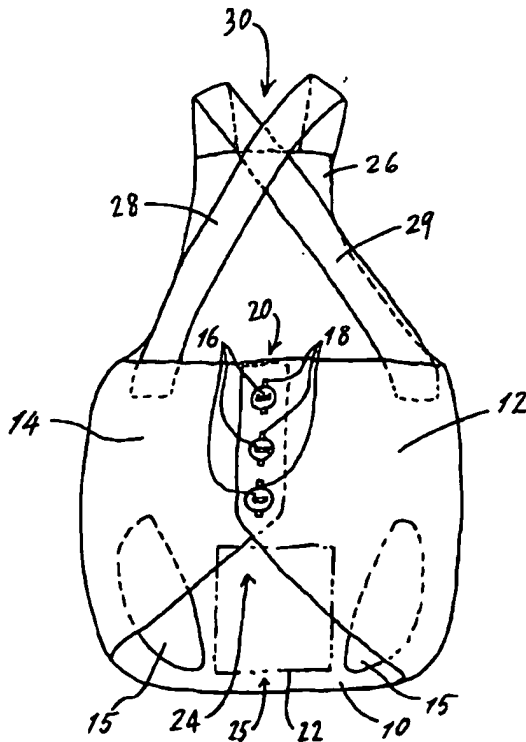
【図1】本発明にかかる犬用オムツカバーの実施の形態を示す平面図である。

【図2】上記犬用オムツカバーを犬に装着した例示す斜視図である。

【符号の説明】

- 10 腹当て部
- 12 背当て部
- 14 背当て部
- 15 後足通し孔
- 20 連結部
- 22 オムツ
- 25 オムツ装着部
- 26 胸当て部
- 28 紐
- 29 紐
- 30 頭部挿入部

【図1】



【図2】

